

## 4 コママンガを通した、インタープリテーションの普及 ～やまねこ&リッツの「インタープリターがゆく♪」～

川村悦子（やまねこ works） & 鈴木律子（ぐらいん屋）

キーワード：自然体験、マンガ

### 1. はじめに

2021年11月に、4年前からはじめた「インタープリターがゆく♪」の4コママンガを、A5版27作品掲載の36ページの小冊子にしました。定価を500円にして山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターなどに委託して販売しています。

この発表では、作成の目的と大切にしたこと、内容、そして読者の感想などを通して、インタープリテーションの認知度などを共有するとともにこれからを考えていきたいと思えます。

### 2. 目的と、誰と協働するか

「インタープリター」という仕事の目的は環境教育の普及であり、自ら行動するためのきっかけづくりです。当時ふれあいセンターの展示も担当していたことから、わかりやすく、親しみやすい展示方法を考えていました。そこでインタープリターを主人公に、私や仲間たちが行ってきた具体的事例を4コママンガにしてみることを思いつき、見本をいくつか描いてみました。

エピソードはたくさんあり、4コマの絵コンテまでは描けますが、人に紹介できる絵にする力量はありません。「誰かと組みたい、誰となら創り続けられるか」を考え、イラストレーターであり同じ職場で仕事をしてきてつきあひも長く、話も通じやすい鈴木律子さんに声をかけました。快諾してくれたことから、原作やまねこ、作画リッツで現在にいたっています。これまで4回の展覧会も開いてきました。

### 3. 内容を、ちょこっと紹介します

マンガの内容は、プログラム中の出来事「聞きなしホオジロ」「あつ！タマゴだ！」「八ヶ岳おろし〜♪」、下見中の様子「のき下 de なべかぶり姫」「霧に消える参加者さん」、「黒い動物にドキッ！」、舞台裏も描いた「桃はどんぶらこ？」「聞きなしエゾハルゼミ♪」、「誰もが楽しめるように」などがあり、研修では「キャンプネームって？」「KP法でカシャ！！」「B型は」などを載せています。

展覧会では、マンガを大きく印刷してパーテーションに貼り、その前に置いた机に小道具や参考図書を並べました。

紹介していたインタープリテーションや環境教育のお役立ち本と、「自然体験と絵本」と名づけて並べた中から抜粋した絵本の紹介ページもつけました。

### 4. 上遠恵子さんがコメントを書いてくださいました

インタープリテーションを行っていくなかで大切にしている「在り方」が、「センス・オブ・ワンダー」です。



写真1 展覧会の様子

私たちの思いが伝わる冊子にしたいと思った時に浮かんだのが、いつも私たちを見守ってくれている「センス・オブ・ワンダー」の訳者である上遠恵子さんでした。ご連絡を入れたら快く受けてくださり、メッセージが届きました。

「すべての人にセンス・オブ・ワンダーを」。2021年11月に上遠恵子さんをお招きした八ヶ岳自然ふれあいセンターで行った講演会のタイトルです。2020年3月に新型コロナウイルスの感染拡大で延期開催になったことから、「開催できてよかった。清里に来てよかった」と言ってくださったことも心に深く残っています。

鈴木律子さんが似顔絵を描いて「スペシャルサンクス」というページにしました。

### 5. いただいたコメントを紹介します

- ・お客様：60代くらいの男性、展覧会をみながら「山に登り、保護活動をしている。私がしていることもインタープリテーションというんですね。マンガはわかりやすい。孫と読むわ」
- ・お客様：40代くらいの女性、展覧会をみながら「とても楽しく過ごせました。買います。冊子はカラーじゃないんですね。ぬりえにします」
- ・Nさん：20代女性、元キープ協会レンジャー「家族に、私の仕事内容をわかってもらえました」
- ・Fさん：40代女性、翻訳業「インタープリターの仕事がよくわかる。仕事ぶりや大切にしていることも伝わってくる。この道のプロフェッショナルだということも」

- ・Kさん：男性、職場の臨時職員の女性の声とともに  
「インタープリターということばを知らなかった。Kさんみたいな仕事をしている方がいるのですねと言われ、世の中インタープリターはまだそんなイメージだよねと苦笑しました。中身はとて面白かったようで、また山を案内してねと言われたから、インタープリターのイメージはよかったのではないのでしょうか。個人的にもお二人のおかげでインタープリターの地位があがった気がします」
- ・Nさん：女性、元那須平成の森ボランティア  
「この内容のようなインプリはなかなかできませんが、読ませていただいてエッセンスを忘れないようにしていきたいです。バイブルにしまーす」
- ・Nさん：男性、冒険教育実践者  
「かわいい冊子ですね。これを使ってワークショップができますね」
- ・Gさん：女性、元キープ協会レンジャー  
「素敵な冊子。どれもこれも素敵なエピソードばかり。そのひとつに使っていただきありがとうございます。楽しく人生を生きる先輩の代表です♪これからも背中を見せてください」
- ・Sさん：男性：元レンジャー  
「新ジャンルを開拓しましたね。後々、あれが先駆けだったとか言われるような予感がするんですよ。にやにやしながら拝読しました」
- ・Aさん：男性、幼稚園園長  
「すごく興味を覚えました。これは保育の記録にも使えるなど。4コママンガで子どもたちの世界を描く・・・若い先生にも回し読みしますね」
- ・Eさん：男性、体験者  
「思った以上に繊細に細やかな内容で興味深く読んでいます」
- ・Mさん：男性、大学教授  
「拝読しました。思わず2回も読んでしまいました。寒い日が続く中、おかげで気持ちを少しあたためることができました。楽しく、とてもよい本だと思います。おすすめお役立ち本の中に、福音館のシリーズがなどもあり、インタープリターに役立つ本があるのですね。上遠恵子さんからのメッセージ、素敵でした」
- ・Mさん：男性、野生動物研究者  
「とても あたたかいですね。刺激的です」
- ・Oさん：90代、男性、絵描き  
「インタープリターって何だろうと思いつつながら、カタカナことばをひとつひとつ調べながら拝見しました。そんな訳で僕らのような年寄りには何もかも新鮮で心打たれました。なんとなくこのような世界があることは承知していましたが、こんな素敵でりっぱなことなさっている。何度も見て、読んで少しは理解できたかな、なんて自分の見識が広がったことに喜びを感じております。頑張つてねえ」

## 6. まとめ

4回目の展覧会となった昨年11月下旬に冊子の販売をはじめて半年。先に記述したコメントや、委託販売先からのお声などをいただいたことで、「インタープリター」「インタープリテーション」の認知度が一般的にはまだまだ低いことがわかりました。また4コママンガという手法を使ったことで、親しみやすくなったのかなとも感じています。

事例を4コママンガにしていくことで、私たち自身の考え方も整理できますし、これからインタープリターになりたい方にも参考になれば・・・と思っています。

今年も11月23日(水)から12月5日(月)で山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターにて展覧会を開催する予定です。ぜひ足をお運びいただき、みなさまからのフィードバックなどを頂戴できれば嬉しいです。



写真2 「インタープリターがゆく♪」の冊子

## 7.お礼にかえて

- ・寄贈：登場していただいたインタープリター仲間たちなど  
北杜市図書館8館など
- ・掲載&紹介：八ヶ岳ジャーナル  
八ヶ岳タイムス  
だたら八つ (八ヶ岳周辺自然いっぱい情報誌)  
日本インタープリテーション協会ホームページ
- ・委託販売：山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター  
北杜市オオムラサキセンター  
八ヶ岳コモンズ (コワーキングスペース)  
大丸屋 (富士見町駅前アンテナショップ)
- ・お問合せ先：yamaneko.works@gmail.com